

第1回(仮称)苫小牧市民ホール建設検討委員会 議事要旨

1 日 時 平成27年5月29日(金)14時30分

2 場 所 苫小牧市民会館101号室

3 出席者

- (1) 委員7名
- (2) 市関係者 岩倉市長ほか7名
- (3) 報道関係者5社
- (4) 北海道大学大学院工学研究院 オブザーバー6名

4 次 第

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 役員選出について

森委員を委員長、志賀委員を副委員長に決定。

(4) 報告、資料説明

事務局から各複合検討施設の説明。

【主な質問・意見】

委員質問 1 各複合検討施設は5つ点在していることには理由はあるのか。

事務局回答 1 建設年度が違うことから配置には大きな理由がないと考えられる。

委員長所感 1 今の指摘は非常に重要だと思う。苫小牧市だけでなく、多くの日本の町は高度経済成長で人口が増え、豊かになっていくにつれて、住民の要望が増え、空いている土地に公共施設を建設していったという経緯がある。これからの人口減少の時代には、公共施設の在り方としては全体の配置を50年や100年先を見据えて議論を進めていく必要がある。したがって、(仮称)苫小牧市民ホールにどのような機能を導入していくかということも重要ではあるが、使用できる土地の中で、どこにどのようなゾーンを作っていくかを検討することもまちづくりを進めていく中で非常に重要かと思う。

- 委員質問 2 建設地のおおよその目安は立っているのか。
- 事務局回答 2 現在いくつか候補地があり、確定したことはまだ申し上げらない。ただし、建設地については今年度に策定する基本構想から来年度に実施する基本計画にかけて決めていくことになると思う。
- 委員長所感 2 これからの検討委員会の中で、にぎわいある施設を作っていくためには、土地の広さ、立地、コストのことも議論の中で重要になってくると思う。
- 委員質問 3 建設までの全体スケジュールを伺いたい。また、委員会の考え方はどこまで影響を及ぼすことができるのか併せて伺いたい。
- 事務局回答 3 行政改革のプランニングの中で、平成 27 年度は基本構想、平成 28 年度は基本計画、平成 29 年度は基本設計、平成 30 年度は実施設計と単年ごとに目標を積み立てていこうと考えている。したがって、着工までには少なく見積もっても 4 年にかかるのではないかと見込んでいる。
- 委員長所感 3 この委員会の考え方としては、(仮称)苫小牧市民ホールはどうあるべきか、コンセプトや基本理念を練っていくのが、まずはこの 1 年間の検討委員会の役割になると思う。
- 委員意見 4 市民会館の利用者の感じている不便な点であったり、短所も考慮に入れながら議論を進めていくのも有効な手段だと考える。
- 委員長所感 4 基本構想の段階で意見を吸い上げていく必要があるのか、基本計画の段階で意見を吸い上げていく必要があるのかについては、それぞれの段階に見合った方法を検討していきながら実施することになると思う。また、苫小牧市で市民の方々にアンケートを実施したと聞いているが、その点について事務局から少しお話いただきたい。
- 事務局説明 4 平成 27 年 3 月から 4 月までに、2,500 名の市民の方々に向けて(仮称)苫小牧市民ホールについてのアンケートを実施した。その中には、市民会館を含めた公共施設の利用頻度であったり、(仮称)苫小牧市民ホール建設に向けての意見や要望を幅広く聞いている。

委員長所感 4 実施した市民アンケートについては、公共施設や市民会館について幅広く聞く様式になっているので、今後同様に市民の意見を伺う機会があれば、もう少し踏み込んだ意見を取り入れていく必要があると考えている。また、市民会館の管理運営者側の目線も重要だと思うので、そういった目線も取り入れながら議論を進めていくことができればと思っている。

委員意見 5 市民会館の管理運営者側の立場からも含めて、良い点や悪い点を把握しているので、しっかりと良い点を継承していければと考えている。それを踏まえながら、どういう(仮称)苫小牧市民ホールを作っていくのか考えている。また、最初から施設の形態や規模ではなく、どういう施設があるべきかコンセプトを十分に練っていくことが重要なのではないかと思う。

委員長所感 5 意見を伺った中で、事務局と北海道大学大学院工学研究院で検討しているのが、全国の先進地の事例を踏まえて、これから議論を進めていきたいと思っている。また、新しい公共施設を検討していく中で重要なのが、利用されている方々の御意見を伺うことは容易だが、まだ利用されていない方々にどのように利用していただくかが重要な焦点となってくる。そういった方々の意見をどのようにして取り入れていくのかも検討しながら、今後取り組んでいければ良いと考えている。

委員長質問 6 複合検討施設となっている文化会館が、近年、ホールの利用者人数が増加しているかと思う。どのような理由があるのか。私見だが、他の市町村などで使用できる施設が減少したことなどが考えられるのか。

委員回答 6 アイビー・プラザにあるホールの座席は可動式であり、反響板がないこと、また市民会館の大ホールについても反響板がないことを理由に、クラシックの演奏行事が文化会館のホールに集中しているが理由の1つであると考えられる。

(5)苫小牧市民会館の施設見学

大ホールを中心に楽屋や舞台をおよそ30分程度見学

(6)閉会